

NECグループ AI と人権に関するポリシー

2019年4月制定

「社会価値創造型企業」である NEC グループ（以下、「NEC」といいます）は、新たなテクノロジーによって「安全・安心・効率・公平」の価値を提供し、社会課題解決への持続的な貢献に努めることで、「人が生きる、豊かに生きる社会」の実現を目指しています。一方、AI（人工知能）の社会実装や生体情報をはじめとするデータの利活用（以下、「AIの利活用」といいます）は、人々の生活を豊かにする反面、その使い方によってはプライバシー侵害や差別をはじめとした人権課題を生み出すおそれがあることも理解しています。

NEC は、AI の利活用によって生じうる人権課題を予防・解決するために本ポリシーを制定します。各国・地域の関連法令等の遵守はもちろんのこと、本ポリシーは、社員一人ひとりが、企業活動の全ての段階において人権の尊重を常に最優先なものとして念頭に置き、それを行動に結びつける指針となるものです。

① 公平性

NEC は、AI の利活用において、判断結果に偏りが生じる可能性を常に認識し、個人が不当な差別を受けないように努めます。

② プライバシー

NEC は、AI の利活用において個人のプライバシーに配慮し保護するよう努めます。

③ 透明性

NEC は、私たちの AI の利活用において、判断結果の説明が可能となる仕組みの構築を目指します。

④ 説明する責任

NEC は、AI の利活用による効果・価値・影響について、適切な説明を行い、全てのステークホルダーから理解が得られるよう努めます。

⑤ 適正利用

NEC は、AI の利活用において人権を尊重した適正な用途で利用するよう努めます。

お客さまやパートナーの AI の利活用において、NEC は、私たちの製品・サービスを提供する際には、人権を尊重した適正な用途で利用されるよう努めます。

⑥ AI の発展と人材育成

NEC は、AI の利活用促進に向けて、有用で最先端の技術開発と、人材の育成に努めます。

⑦ マルチステークホルダーとの対話

NEC は、私たちの AI が人権課題を発生させることがないよう、自社だけでなく第三者の視点や意見を取り入れるため、外部有識者を含めた様々なステークホルダーとの連携・協働を促進します。

今後 AI の利活用において発生する新たな社会課題に対し、NEC はその課題から目をそらさず、テクノロジーを活用して正面から取り組むことで、世界の人々が相互に理解を深め、人間性を発揮する豊かな社会の実現につなげていきます